

内容評価細目の第三者評価結果 【保育所版】

A-1 保育内容

			第三者評価結果
A-1-1 全体的な計画の作成			
1	A-1-1-①	保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している。	a
<コメント> 理念や基本方針・教育保育目標に基づいて、子どもの心身の発達や家庭での状況を把握して実情に合わせた保育計画を作成している。担任は毎月子どもの園生活の様子を観察しながら評価し、修正や変更等を加え次の計画に活かしている。			
A-1-2 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開			
2	A-1-2-①	生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a
<コメント> コロナ禍で室内環境の整備として、空調設備(エアコン)工事をして子どもたちが快適にのびのびと過ごしてもらえるようにしている。冬期間に玄関前の積雪や凍結から守るために、地下水利用の消雪設備を施工し子どもの送迎時の転倒防止を図り、また職員による除雪作業の軽減にもなり、皆から喜ばれている。			
3	A-1-2-②	一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a
<コメント> 子ども一人ひとりの個性を理解し、受入れその子どもに合った保育を目指している。保育計画や対応についての受容度チェックで評価を行い、次の計画に反映させて質の向上を図っている。			
4	A-1-2-③	子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a
<コメント> 基本的な生活習慣は子どもに個人差があることを理解して、できた時は褒めて上げ、やる気の持てる保育を行っている。園での子どもの生活は1時間は戸外で遊び、その後は屋内に入り水分補給し座って絵本を読んだりして、活動と休息のバランスを取りながら過ごしている。			
5	A-1-2-④	子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a
<コメント> 職員が子どもの年齢に合わせて、子ども自らの考えで遊べるように引き出し、より楽しい遊びに導いている。散歩では事前に距離をチェックし、年齢別の考慮や交通量の少ない道路を選び交通安全教育も行いながら実施している。			
6	A-1-2-⑤	乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
<コメント> 家庭的な雰囲気づくりの中で心の安定を大切に1対1で接している。顔を見て応答しながら絵本を見せたり、わらべ歌を歌い、一人ひとりの成長に合わせた養育をしている。子どもの送迎時には必ず保護者に様子を伝え、連絡帳にも詳しく記載して関係を密にしている。			
7	A-1-2-⑥	3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
<コメント> 保育計画表を基に、子どもが心豊かに成長してほしいと願い、個性に合わせた保育に努めている。行事等で年長児が年少児の手をつないで、拾ったどんぐりや松ぼっくりを小さい子にあげたりして面倒を見るなど親切心や優しい心が芽生えている。			
8	A-1-2-⑦	3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
<コメント> 3歳児は甘えん坊が多い中で、好きな遊びを叶えてあげようと職員が手助けしている。4歳児は生活習慣や活動の中で自分の力でできたことなどを、褒めてあげて自信が持てるようにしている。仲間意識や競争でもやり遂げ、また廃品を使って工作するなど力を付け成長している。			
9	A-1-2-⑧	障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
<コメント> 園内の1階はバリアフリー化され、職員は研修を受けて受入れ体制はできている。園での様子や市の健診などから個別的な配慮を必要とする子どもが数名在籍し、個別指導計画を作成して保護者と協力しながら専門機関のアドバイスを受けるなどの連携を図りながら全職員で取り組んでいる。			
10	A-1-2-⑨	それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
<コメント> 子ども一人ひとりが登園・降園の違いがあり、また急な変更や連絡帳はクラス毎に印刷して申し送りなどで漏れがないように確認し、職員全員が共有している。午前・午後のおやつ、昼食、午睡の時間などは家庭での生活スタイルを考慮しながら決めており、職員の勤務体制も子どもの人数・職種に合わせている。			

内容評価細目の第三者評価結果 【保育所版】

11	A-1-(2)-⑩	小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a
<コメント> 進学する予定のそれぞれの小学校と連携を図り、「保育所児童保育要録」を送付してスムーズな就学に繋がるよう支援している。1年生の夏頃になると旧担任宛に手紙をくれたり来園した子どもたちから小学校生活の様子を聞くこともあり、また毎年3月の卒園生6年生同窓会での再会は職員の楽しみになっている。			
A-1-(3) 健康管理			
12	A-1-(3)-①	子どもの健康管理を適切に行っている。	a
<コメント> 常勤の看護師がおり、入園前健康診断や発育状況・既往歴・予防接種・アレルギー疾患などを記入した児童票を提出してもらい子ども一人ひとりの健康状態を把握し、日頃の観察から病気の早期発見・治療に繋げている。クラス別に子どもへの保健指導や保護者向けに毎月発行している「ほけんだより」で感染症予防などの注意を促している。			
13	A-1-(3)-②	健康診断・歯科検診の結果を保育に反映している。	a
<コメント> 内科(年2回)、歯科(年2回)、耳鼻咽喉科(年1回)健康診断を業務委託医により実施し、毎月の身体測定(身長・体重)などの結果は全て保護者に報告して、異常があった場合は受診の勧めを配布している。歯科衛生士から歯みがき指導が行われ、虫歯0本の年長児には園から『きれいな歯で賞』の賞状が贈られ虫歯予防を奨励している。			
14	A-1-(3)-③	アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a
<コメント> 入園前に調査し、食物アレルギー疾患のある子どもの給食・おやつは除去食を提供している。対応マニュアルを作成し、内科委託医による指導のもと緊急時対応の研修も実施して看護師を中心に全職員で共有している。			
A-1-(4) 食事			
15	A-1-(4)-①	食事を楽しむことができるよう工夫している。	a
<コメント> 食育体験に力を入れており、園の実習畑では保護者の協力を得ながら野菜作りに挑戦し、野菜の生長過程を見学しながら収穫の喜びやクッキング活動で味わい、にがてな野菜克服にも役立っている。毎月「食事だより」「献立表」「レシピ」を配布して保護者にも「食」の大切さを発信している。			
16	A-1-(4)-②	子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a
<コメント> 地産地消・季節感・地域性を大切に完全給食を提供している。離乳食は経験のある食材のチェック表を提出してもらい保護者と情報交換し、事故防止に努めながら進めている。子どもたちは厨房のガラス窓から調理風景を見学し、包丁の音や匂いを体感して食に興味を持ち食欲増進に繋がっている。			

A-2 子育て支援

			第三者評価結果
A-2-(1) 家庭との緊密な連携			
17	A-2-(1)-①	子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a
<コメント> 情報システム(連絡帳等)を活用して保護者(家庭)と日常的な情報交換を行っている。コロナ禍の中感染防止を講じながら、保護者懇談会(2回/年)や行事(運動会等)にて保護者と直接関わる機会をつくっている。			
A-2-(2) 保護者等の支援			
18	A-2-(2)-①	保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a
<コメント> 日常的に登園・降園等の際には、要望・不安や悩みなどを傾聴できるように取り組んでおり、個別に相談や面談する機会を設ける取組も行っている。			
19	A-2-(2)-②	家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a
<コメント> 日常的な保育の中で着替えなどの際には、身体等に異常がないか観察してこまめにチェックし、関係機関との情報共有など連携体制も整備している。			

内容評価細目の第三者評価結果 【保育所版】

A-3 保育の質の向上

			第三者評価結果
A-3-(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)			
20	A-3-(1)-①	保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a
<コメント> 毎月の保育実践の振り返りや年2回(前期・後期)の園全体での自己評価を実施している。今後の保育実践の改善や専門性について、職員全員で現状に満足せず研鑽している。			